

第43回全国学童保育指導員学校西日本会場 (京都) 指導員学校ニュース第6号

2018年6月10日(日) 9:30 受付開始 10:00 開会
会場：京都教育大学 (共通講義棟・1号館・2号館)



☆申し込み始まりました☆

全体会は3つの会場に分けて行い、講座も各教室の定員があります。そのため、午前の全体会、午後の講座共に申し込み順となります。参加を決めている方は早めのお申し込みをお勧めします！



最終回 o(T^T)o

講座紹介のコーナー♪

※★印はグループワークあり

ニュース5号に続き、最後の6つの講座をご紹介します！



【実践講座】

⑱ 有効な保育記録の書き方 —豊かな保育計画を作るために— (★)

指導員は、子どもを理解するために、実践を整理し保育の見通しを持つために、保育計画をより実践的なものにするために、などを目的に保育実践を記録します。この講座では記録の必要性を確認し、記録の書き方について学びます。そして、実践記録を毎日の保育にどのようなやり方で活かしているのか、交流し、学び合います。

⑳ 学童保育と学校・地域との連携 (★)

学童保育は学校や地域と無縁では存在しません。緊急の場合にすぐ繋がることのできる地域の機関や、学校や保育所と子どもの情報を共有し、必要な働きかけをできるようにしておくことが、子どもの命を守り、成長発達の連続性を保障するためには必要です。どのように連携すればよいのか、事例を基に学び深めていきます。

㉑ 職員のチームワーク (★)

毎日の保育を充実させるために、どこの学童保育でも指導員同士のチームワークを大切にしていると思います。ただ連携していくにあたって生じる課題はさまざまです。信頼関係の構築や保育観の共有など、毎日が試行錯誤です。報告を基に、参加者で課題を整理し、どのようにチームワークを確立していったらいいのかを学び合いましょう。



講座紹介のコーナーのつづき♪

【実践講座】

※★印はグループワークあり

②② しょうがいのある子どもの保育と関係機関との連携

しょうがいのある子どもが何にどう困っているのか、理解を深め必要な保育をするためには、指導員が専門研修で学ぶことはもとより、専門家に相談したり共に検討したりする機会が必要になってきます。どのような専門機関とつながるのか、「連携する」とはどういうことなのか、実践報告から考え合います。

②③ みんなであそぼう (★)

6～7月は雨の季節。室内遊びの充実が欠かせません。ボードゲームを中心に、グループに分かれて参加者全員でいろいろなあそびを体験します。導入の仕方、工夫の実例、指導員の関わり方なども交流します。また、湖東地域の伝統的遊びである「カロム」については、他では聞けない詳しい情報も準備されています。

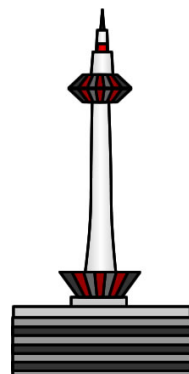
②④ 「運営指針」を学ぶ

「放課後児童クラブ運営指針」は、国が学童保育の役割と運営の指針を定めたものです。学童保育は、初めて“子どもの最善の利益を考慮、することに努めなければならない、と規定されました。子どもの権利を守ることを基本とする指導員の仕事内容を学ぶと共に、指導員の倫理についても深めます。



喝

全24講座の紹介が終わりました！
講座の内容を読み返して、自分にあった講座を見つけよう！スキルアップのために指導員学校に申し込んで、共に学びましょう♪



☆申し込み・入金はお早めに！入金の上、お申し込みください

☆リーフレットは順次連協、もしくは市町村を通じて各学童保育所に配布します。

☆HP (<http://gakudou.me/aichikenrenkyou/index.htm>) にリーフレット掲載されています。

リーフレットがまだ届いていない方、ご利用下さい♪

☆申込用エクセルファイルをご希望の方は、下記事務局までメールで申し込んで下さい。



【お問い合わせ】愛知学童保育連絡協議会 指導員学校 PT

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7-308

TEL：052-872-1972 FAX：052-308-3324

E-Mail：aichigakudou@gakudou.biz